

R7年度 荒川水系(東京ブロック)

流域治水プロジェクト2.0 対策事例集



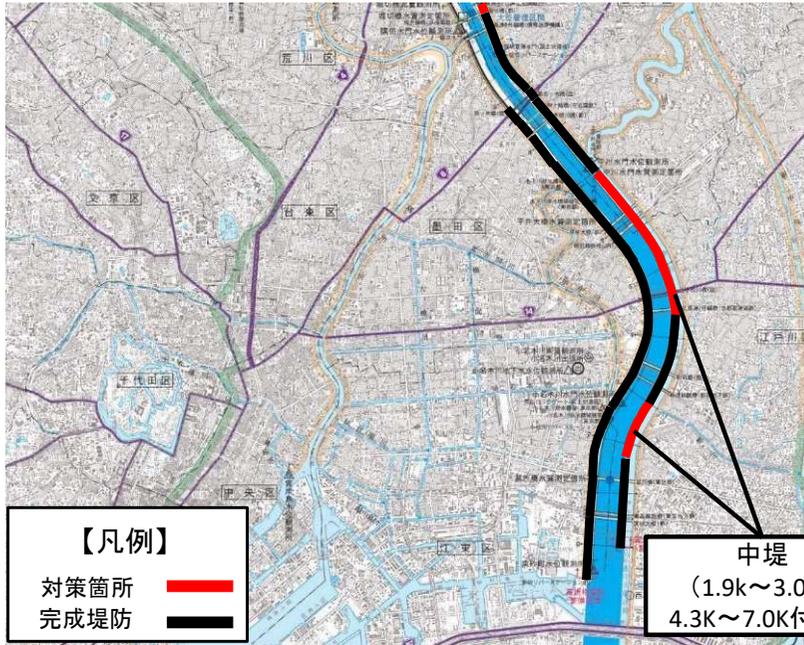
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策				頁
(1) 洪水氾濫対策				
堤防整備	荒川下流河川事務所	更新	1	
護岸整備	東京都		2	
堤防等の耐震・耐水対策事業	東京都		3	
砂防堰堤の整備	東京都		4	
河道掘削	荒川下流河川事務所	更新	5	
京成本線荒川橋梁架替事業	荒川下流河川事務所		6	
調節池整備	東京都		7	
調節池整備	東京都	新規	8	
高規格堤防整備事業	荒川下流河川事務所		9	
(2) 内水氾濫対策				
下水道排水施設整備事業	東京都		10	
下水道排水施設整備事業	東京都		11	
(3) 流域の雨水貯留機能の向上				
校庭貯留の取組	北区		12	
雨水貯留施設整備事業	東大和市		13	
校庭貯留の取組	西東京市		14	
建物内の雨水貯留施設の取組	武蔵野市		15	
住宅等の雨水貯留の取組	青梅市	更新	16	
雨水貯留施設整備事業	東大和市		17	
雨水貯留施設整備事業	東久留米市	新規	18	
透水性舗装整備事業	豊島区		19	
雨水貯留・浸透施設の設置義務づけ、指導の取組	東京都		20	
上流域の森林整備	足立区	新規	21	
自然地保全の取組	小平市		22	
雨水流出抑制に資する取組	東京都	新規	23	
グリーンインフラ整備(公園緑地の整備、施設の緑化等)事業	中野区		24	
流域治水の啓発動画	荒川下流河川事務所	新規	25	
道路下の雨水貯留浸透施設整備事業	西東京市		26	
雨水しみこみプロジェクトの展開	東京都	新規	27	
2. 被害対象を減少させるための対策				
(1) 水災害ハザードエリアにおける土地利用や住まい方の工夫				
高台への一時避難及び二次避難経路の確保	東京都		28	
高台まちづくりの推進	東京都		29	
都市開発諸制度の活用による高台まちづくりの促進	東京都		30	
板橋区かわまちづくりの取組	板橋区		31	
住宅高床化の取組	杉並区		32	
大規模水害に対応した既存排水ホブ施設の耐水化、水南門を活用した氾濫水の自然排水	荒川下流河川事務所・東京都		33	
土砂災害警戒区域等の指定見直し・公表	東京都		34	
3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策				
(1) 避難体制等の強化				
荒川3D浸水想定区域図～3D洪水ハザードマップ～の公表	荒川下流河川事務所		35	
水防災情報の発信強化	東京都		36	
水防災情報の発信強化	東京都		37	
高潮浸水想定区域図の改定・高潮特別警戒水位の再設定	東京都		38	
土砂災害危険度情報の発信による土砂災害リスク情報の充実	東京都		39	
まるごとまちごとハザードマップの設置	台東区		40	
浸水ハザードマップの配布	港区		41	

ハザードマップの改良及び啓発の取組	墨田区		42	
公開型GISへのハザードマップの反映	中野区		43	
ハザードマップ解説動画の作成	北区		44	
江戸川区水害ハザードマップ改定	江戸川区	新規	45	
首都圏における広域的な避難対策の具体化に向けた検討会	内閣府・東京都		46	
荒川下流タイムラインの策定・運用の取組	荒川下流河川事務所		47	
コミュニティタイムライン作成支援事業の実施	北区		48	
河川水位確認を目的としたAI解析による実証実験	江戸川区		49	
東京マイ・タイムラインセミナーの実施	東京都	更新	50	
(小中学校を含む)防災教育の推進の取組	荒川下流河川事務所		51	
オンライン学習支援プログラムの取組	荒川下流河川事務所	更新	52	
気象防災ワークショップの実施～毎年の取組みとして～	東京管区气象台		53	
防災教育	板橋区	新規	54	
「防災クイズラリーキット」の作成	文京区		55	
職員防災訓練(水害編)の実施	江戸川区		56	
水害からの避難に関する多言語の動画を作成	江戸川区		57	
排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施の取組	荒川下流河川事務所	更新	58	
東京都における排水作業準備計画について	東京都		59	
区市町村との合同排水ポンプ車操作訓練の拡充	東京都		60	
おうちで備えるキャンペーン(ローリングストック周知、防災教育)	板橋区	更新	61	
止水板設置の取組	板橋区		62	
避難施設等の整備、確保(避難路、避難所等)の取組	港区		63	
広域避難先施設の確保	東京都	新規	64	
災害時における移動手段や宿泊施設の確保に関する連携協定を締結	墨田区		65	
緊急一時退避場所の運用	板橋区	新規	66	
水害時における民間集合住宅との一時避難協定の締結に係るガイドラインについて	葛飾区		67	
避難確保計画作成支援DVD及び手引き作成の取組	荒川下流河川事務所		68	
要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練のパンフレット作成	荒川下流河川事務所	新規	69	
避難確保計画作成の手引き及びびひな型の配布	中央区		70	
避難確保計画作成支援システムの導入	北区	更新	71	
要配慮者施設への計画作成勧奨	葛飾区		72	
令和7年度 新宿区・第四消防方面合同水防訓練	新宿区	更新	73	
令和6年度台東区・三署合同総合水防訓練	台東区	更新	74	
京成本線荒川橋梁部における水防訓練の実施	足立区	更新	75	
京成本線荒川橋梁部水防訓練の実施	葛飾区	更新	76	
北区大規模水害避難行動支援計画の策定	北区		77	
災害時における相互援助協定先(秩父市)との荒川上下流ツアーの実施	足立区	新規	78	
4. グリーンインフラの取組				
(1) 自然環境の保全・復元などの自然再生				
荒川下流自然再生 ～グリーンインフラの整備～	荒川下流河川事務所	更新	79	
(2) 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成				
善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業	杉並区		80	
3) 健全なる水循環系の確保				
水質改善を目的とした浚渫	東京都		81	
5) 魅力ある水辺空間・賑わい創出				
遅野井川親水施設整備	杉並区		82	
6) 自然環境が有する多様な機能活用の取組み				
すみだ自然観察会「荒川河川敷の生きもの観察」	墨田区		83	
荒川下流ミズバ・グリーンコミュニティ	荒川下流河川事務所	更新	84	

更新

『堤防整備』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (1) 洪水氾濫対策
- ① 堤防整備、護岸整備等



担当部署	荒川下流河川事務所 流域治水課
連絡先	03-3902-3220
関係機関	—

取組概要

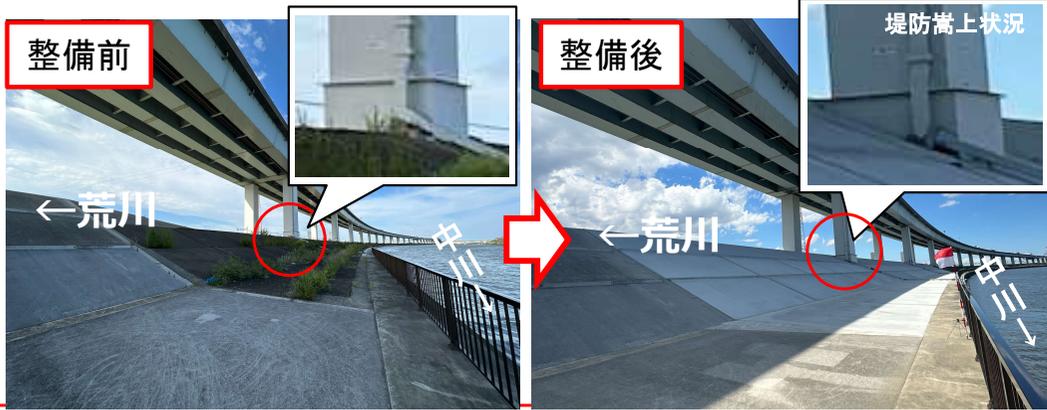
- 荒川の河口から堀切橋までの区間において、高潮堤防の断面形状に対して高さ又は幅が不足している区間等について、嵩上げ又は拡幅を実施します。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- 河道掘削等により発生する土砂や他の機関からの建設発生土を受け入れ、築堤等への有効活用等を図る等、コスト縮減に努めます。

取組による効果

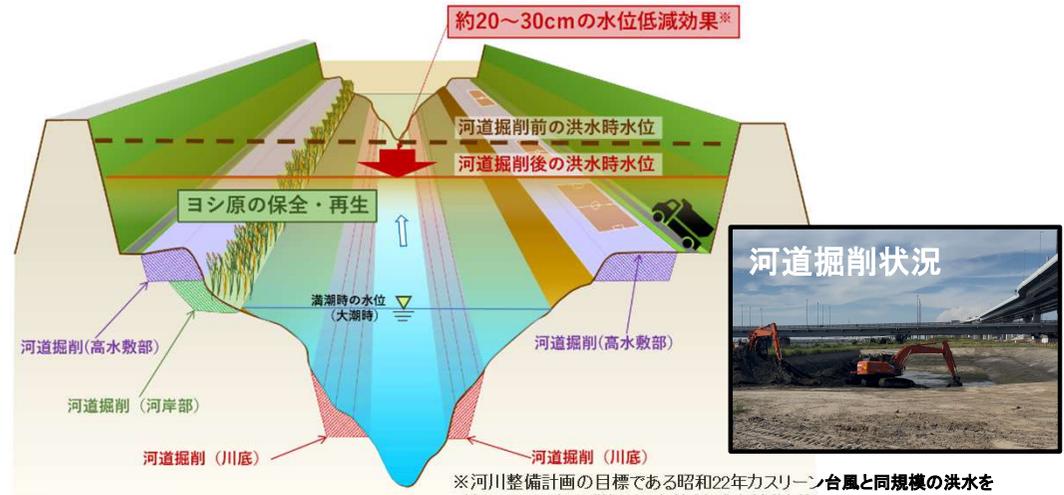
- 高潮による浸水被害を防止する。



更新

『河道掘削』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (1) 洪水氾濫対策
- ② 河道掘削



荒川下流部における河道掘削断面のイメージ

※河川整備計画の目標である昭和22年カスリーン台風と同規模の洪水を流下させた時の試算の最大値(京成本線荒川橋梁付近)

担当部署	荒川下流河川事務所 流域治水課
連絡先	03-3902-3220
関係機関	東京都、沿川自治体等

取組概要

- ・洪水を安全に流下させるために必要な箇所等において、河道掘削を実施します。
- ・荒川下流部の掘削にあたっては、洪水時の水位や河床変動等をモニタリングし、河川環境・維持管理も踏まえています。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・河床変動や動植物の生息・生育環境等に配慮
- ・発生土砂は、築堤等に有効活用

取組による効果

- ・洪水を安全に流下させる。

『調節池整備』

新規

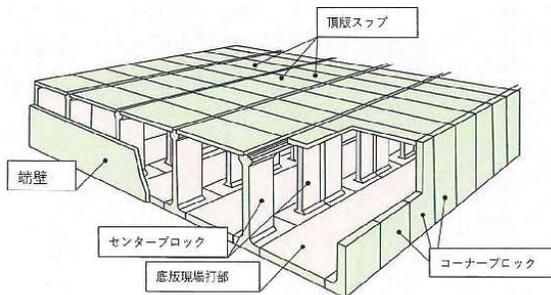
- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (1) 洪水氾濫対策
 - ④ 調節池整備

◆ 矢端川今井2丁目調節池
 <排水区イメージ>



<調節池イメージ>

<整備状況>



調節池容量 約2,300m³

担当部署	東京都 青梅市 都市整備部土木課
連絡先	0428-22-1111
関係機関	—

取組概要

・ 矢端川に隣接する事業用地に調節池を設け、矢端川の水位が基準値を超えた場合、超えた雨水が施設に流れ込む構造となっており、雨水を一時的に貯留いたします。

取組内容の工夫点・課題・留意点

・ 将来的に調節池を増設することや、宅地内に浸透施設を設けることなどが必要であり、様々な対策と併せ、災害への備えとしたいと考えております。

取組による効果

・ 大雨時に矢端川の水位が上昇した際、雨水の一部を取水することで、調節池下流域への影響を低減させます。

『住宅等の雨水貯留の取組』

更新

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (3) 流域の雨水貯留機能の向上
 - ② 雨水貯留浸透施設の整備(建物内の雨水貯留施設、住宅等における各戸貯留)



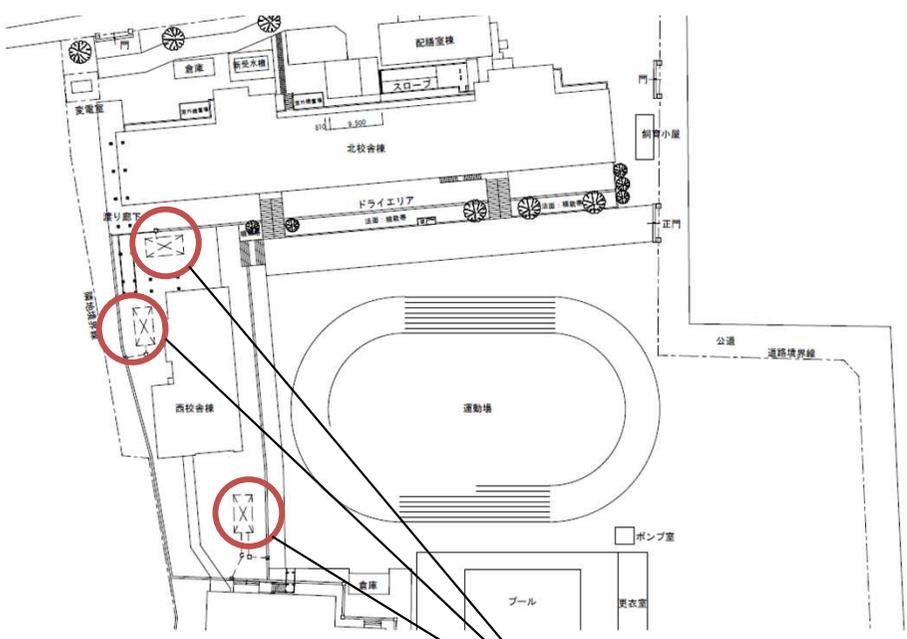
雨水浸透ます 整備イメージ

担当部署	青梅市環境部下水道課
連絡先	0428-22-1111 (内線2646)
関係機関	—
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水浸透施設の設置を促進し、雨水流出抑制による治水効果と雨水浸透による地下水の涵(かん)養等を図る
取組内容の工夫点・課題・留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水浸透施設の計画雨水量は、時間降雨強度 10mm程度を処理するものとする。
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度12基を設置、最大2.7t/hの雨水を浸透

新規

『雨水貯留施設整備事業』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (3) 流域の雨水貯留機能の向上
 - ② 雨水貯留施設の整備(建物内の雨水貯留施設、住宅等における各戸貯留)



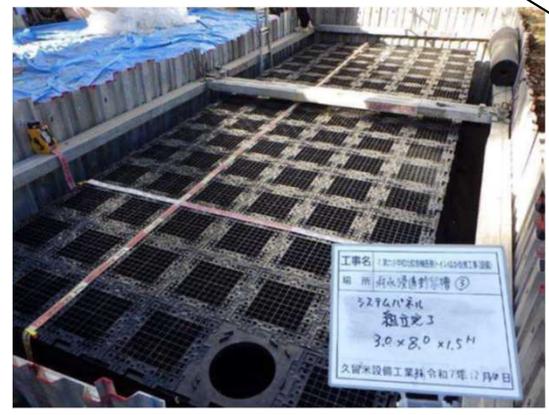
担当部署	東久留米市 教育部教育総務課
連絡先	042-470-7775
関係機関	—

取組概要
 雨水流出抑制及び校庭の冠水対策の取組として、東久留米市立第六小学校の校庭地下に雨水浸透貯留槽（171 m³）を整備した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・ 学校運営に影響が最小限となるよう工期等の調整を行った。
- ・ 貯留槽のメンテナンス費用等に懸念が残る。

取組による効果
 学校敷地外への雨水流出を抑制するとともに、校庭の状態を良好に保ち、衛生状態の保持に寄与することが期待される。



浸透貯留槽設置箇所
(3か所 計171m³)

工事名 雨水浸透貯留槽設置工事
 3.27m x 2.0m x 1.5m
 久留米建設工業会令和7年11月27日

新規

『上流域の森林整備』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (3) 流域の雨水貯留機能の向上
- ⑤ 自然地保全の取組

【流域治水上の森林整備の位置付け】



【木材利用の意義】



担当部署	足立区 都市建設部 都市建設課
連絡先	03-3880-5349
関係機関	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町

取組概要

・令和6年10月に「荒川放水路通水100周年」を迎えることを契機に、上流域の秩父地域1市4町と治水向上に寄与する協定を締結し、森林管理費用の一部を提供すると共に森林の大切さを啓発している。
 ※協定期間は、荒川第二・三調節地が完了する年度の年度末まで。(令和12年度末完成予定)

取組内容の工夫点・課題・留意点

・間伐材で製造した鉛筆を啓発品に選定し、社会科「国土の環境を守る～森林とわたしたちの暮らし～」の学習に関連付けて足立区内の全小学校第5学年に配布。

【秩父地域の取組み事例】



【秩父地域における森林整備】



【間伐材を利用した啓発品】

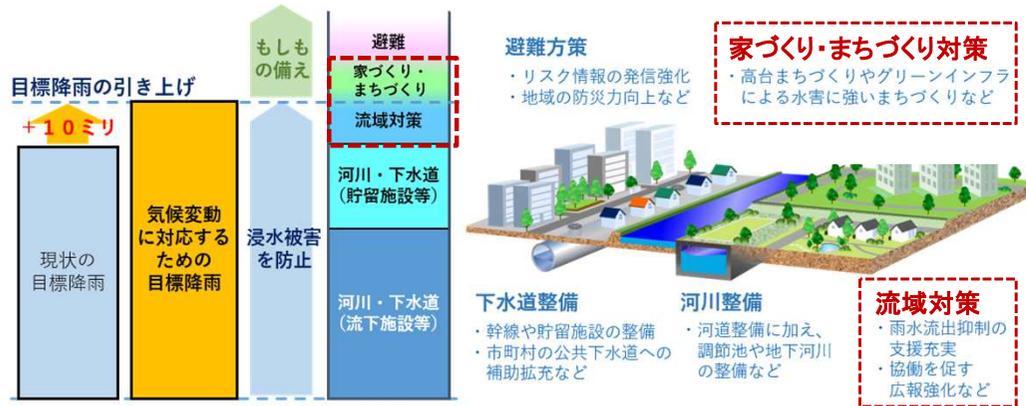
取組による効果

- ・地球環境保全に対する意識の啓発と醸成。
- ・新たな森林産業への支援や森林分野における人材育成、雇用への支援。

新規

『雨水流出抑制に資する取組』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (3) 流域の雨水貯留機能の向上
 - ⑥ グリーンインフラ(公園緑地の整備、施設の緑化等(水害対策も実施))



目標降雨と各施策の役割分担 『東京都豪雨対策基本方針(令和6年12月)』



雨水貯留浸透効果の確認



取組事例集の作成

担当部署	東京都都市整備局都市基盤部調整課
連絡先	03-5388-3386
関係機関	東京都、沿線自治体

取組概要

雨水を一時的に貯めたり、しみこませることで、雨が下水道や河川に急激に流入することを防ぎ、これにより水害の発生防止に図る取組。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・あまみず グリーンインフラ CONCEPT BOOK作成

取組による効果

- ・レインガーデン
- ・バイオスウェル
- ・雨庭
- ・雨水貯留浸透基盤 等の整備

『グリーンインフラ整備(公園緑地の整備、施設の緑化等)事業』

継続

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (3) 流域の雨水貯留機能の向上
 - ⑥ グリーンインフラ(公園緑地の整備、施設の緑化等(水害対策も実施))



本五ふれあい公園



本二東郷やすらぎ公園



広町みらい公園



南台いちよう公園

担当部署	中野区 都市基盤部 公園緑地課
連絡先	03-3228-8850
関係機関	中野区都市基盤部道路課

取組概要

中野区都市計画マスタープラン(平成21年改定)において、「うるおいを生み出すグリーン・インフラ」の強化がもてられており、特に大規模公園をみどりの拠点として位置づけている。このため、緑の少ない区の南部地域に既存の緑を活かしながら芝生(草地)広場やボール遊びのできる多目的運動広場などの施設を整備した大規模公園を順次、供用開始している。

取組内容の工夫点・課題・留意点

各公園の用地特性や区民等から求められる課題を整理し、公園の主要機能である防災、憩い、スポーツなどを各公園で分担しながら整備している。

取組による効果

左図の公園は、「中野区みどりの保護と育成に関する条例」に基づき、公園敷地面積の30%以上の植栽地を確保するとともに、「中野区雨水流出抑制施設設置指導要綱」に基づき、敷地面積に対して6㎡/100㎡以上の抑制対策量を有する雨水貯留・浸透施設を設置している。

『流域治水の啓発動画』

新規

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (3) 流域の雨水貯留機能の向上
 - ⑦ 道路下の雨水貯留浸透施設



<https://www.youtube.com/watch?v=owtf3X25b3c>



<https://www.youtube.com/watch?v=8N-aLDg3zVY>

担当部署	荒川下流河川事務所 流域治水課
連絡先	03-3902-3220
関係機関	
取組概要	流域治水の取り組みを啓発するため、親しみやすいかっぱの絵を使った動画を作成。平常時と大雨時のそれぞれで一人ひとりができる取り組みを紹介。
取組内容の工夫点・課題・留意点	多くの方に取り組みを知っていただけるよう親しみやすさを重視して作成。 街中で待ち時間や街中、市区役所の待ちあい室等のスペースで目にした際に見てみようと思えるように、ゲーム形式に先が気になる工夫、1分程の尺に短くまとめている。
取組による効果	流域治水の裾野を広げることが期待される。 今後視聴回数拡大に課題がある。

新規

『雨水しみこみプロジェクトの展開』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- (3) 流域の雨水貯留機能の向上



【認定事業者数: 82事業者 (令和7年12月末現在)】

行政・企業・個人などみんなで取組を広める



雨水しみこみアンバサダー
情報交換会(令和7年2月開催)の様子

担当部署	東京都都市整備局都市基盤部調整課
連絡先	03-5388-3386
関係機関	東京都、沿線自治体等

取組概要
東京都では、流域対策の一層の取組を進めていくために、雨水しみこみプロジェクトを実施しており、グリーンインフラも含めて流域対策の取組を推進している。

- 取組内容の工夫点・課題・留意点**
- ・ 雨水しみこみアンバサダーの認定
 - ・ 雨水しみこみアンバサダー情報交換会
 - ・ 令和7年度夏休みの自由研究募集
 - ・ 地下街における避難訓練（新宿東地区・大手町地区「頻発する豪雨！地下にいるキミはどうする？」を開催

取組による効果
・ 雨水しみこみアンバサダー 82企業・団体
(令和7年12月19日時点)

『江戸川区水害ハザードマップ改定』

新規

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - (1)避難体制等の強化
 - ①ハザードマップの改良、周知等

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



より多くの区民の皆さまが水害時の避難を自分事として考えていただくことを目指し改定し概要版を全戸配布

担当部署	江戸川区 危機管理部防災危機管理課
連絡先	03-5662-1992
関係機関	
取組概要	<p>R5年度に有識者による検討委員会及び意見聴取会を実施し、区民にわかりやすい内容として概要版と詳しく知りたい方用の本編を作成。</p> <p>令和6年12月に東京都の高潮浸水想定区域図が見直され、地図面の改定を行った。</p> <p>今年の7月に概要版を全戸配布した。</p>
取組内容の工夫点・課題・留意点	<p>これまで行っていた検討委員会に加え、区民の意見を反映するため区議会議員、連合町会長、小・中学校PTAや各関係団体、無作為抽出で選出した区民の方々による意見聴取会を開催した。</p> <p>過去のハザードマップは大規模水害に特化していたが、大規模水害が予想される時とされない時の「とるべき行動」、「避難計画」を記載した。</p>
取組による効果	<p>説明会のアンケート結果で「よくわかった」「わかった」「どちらかといえばわかった」の合計が90%となった。</p>

更新

『東京マイ・タイムラインセミナーの実施』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (1)避難体制等の強化
 - ③防災教育や防災知識の普及



セミナーの様子



VRゴーグル体験



担当部署	東京都 総務局総合防災部
連絡先	03-5388-2486
関係機関	区市町村 他

取組概要

○町会・自治会、学校、企業などを対象とした出前講座や、地域でマイ・タイムラインの作成指導ができる人材を育成する作成指導者講座などの実施。

【令和6・7年度実施セミナー】

- ・町会・自治会向けセミナー（東京防災学習セミナー等）
- ・学校出前講座
- ・親子セミナー
- ・企業セミナー
- ・地域リーダー講習会
- ・自治体職員向けセミナー など

➢令和6・7年度は都内各所で計80回程度実施見込

○風水害の脅威を体感できるVR体験会も実施。

- ・地域の防災訓練、防災イベント など

『オンライン学習支援プログラムの取組』

更新

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (1)避難体制等の強化
 - ③防災教育や防災知識の普及



オンライン学習の様子(荒川知水資料館)



オンライン学習の様子(小学校)

担当部署	荒川下流河川事務所 地域連携課
連絡先	03-3902-8745
関係機関	—

取組概要
 荒川知水資料館（アモア）の学習支援プログラムの1つとして、Zoom等のWeb会議ツールを活用したオンライン学習を実施している。荒川の治水の歴史や取り組み、防災に対する自助共助の考え方を中心に、学校の要望や地域の実情を踏まえた内容を提供している。

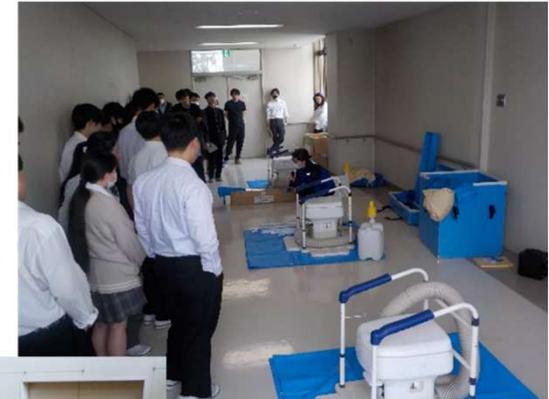
取組内容の工夫点・課題・留意点
 学校側が利用しやすいよう、**流域治水**を題材としたオンライン学習の活用事例をまとめたガイドブックを作成している。
 また、学習効果を高めるため、荒川知水資料館の見学とオンラインを組み合わせた事前・事後の学習支援利用を推進している。

取組による効果
 オンライン学習を利用したことがきっかけで、荒川知水資料館の見学に訪れる学校が見られるようになった。令和元年東日本台風の記憶が薄れつつあるなか、当時の写真や映像を見せることで、水防災意識の向上つながっている。

『防災教育』

新規

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - (1)避難体制等の強化
 - ③防災教育や防災知識の普及



担当部署	板橋区 危機管理部地域防災支援課
連絡先	03-3579-2152
関係機関	区内小学校・中学校・高校

- 取組概要**
- ・区内小学校・中学校・高校にて以下の項目の防災教育を実施
 - 避難所VR動画資料
 - 段ボール間仕切りを使った避難所での居住スペース体験
 - マンホールトイレを使った災害時トイレ体験
 - 備蓄倉庫探検
 - 水害ワークショップ
 - ・地域(町会・自治会)・消防を交えた防災教育を実施(新河岸小学校・舟渡小学校・板橋第二中学校)

- 取組内容の工夫点・課題・留意点**
- ・防災教育リーフレットを作成し、どのような防災教育が実施できるか提示
 - ・職員の出向人数も限られるため、授業のマニュアルを整備
 - ・学校・学年によって求める防災教育の内容が異なるので、柔軟に対応できるか検討が必要

- 取組による効果**
- ・防災に関する興味と知識を身に付けることで、発災時に命を守る行動がとれる(自助)
 - ・小学生・中学生・高校生のうちから防災に関する知識を身に付けることで、積極的にまちのために行動する大人へと成長できる(共助)
 - ・防災教育で地域の人と触れ合うことで顔の見える関係を構築⇒発災時に助け合うことができる(共助)

『排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施の取組』

更新

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - (1)避難体制等の強化
 - ④排水計画作成及び訓練の実施



機器操作訓練の実施(荒川下流河川事務所)

担当部署	荒川下流河川事務所 流域治水課
連絡先	03-3902-3220
関係機関	内閣府、水資源機構、東京都、千代田区、中央区、台東区、墨田区、荒川区、江戸川区、川口市、板橋区、東京国道事務所、相武国道事務所、災害協定会社

取組概要

- ・国土交通省や自治体の職員、協定会社を対象とした災害対策用機器の操作訓練を例年実施している。(R3～R6年度は感染症拡大防止等のため、荒川下流河川事務所単独で実施)

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・自治体参加時においては、災害時における自治体への貸付方法、窓口等を案内している。

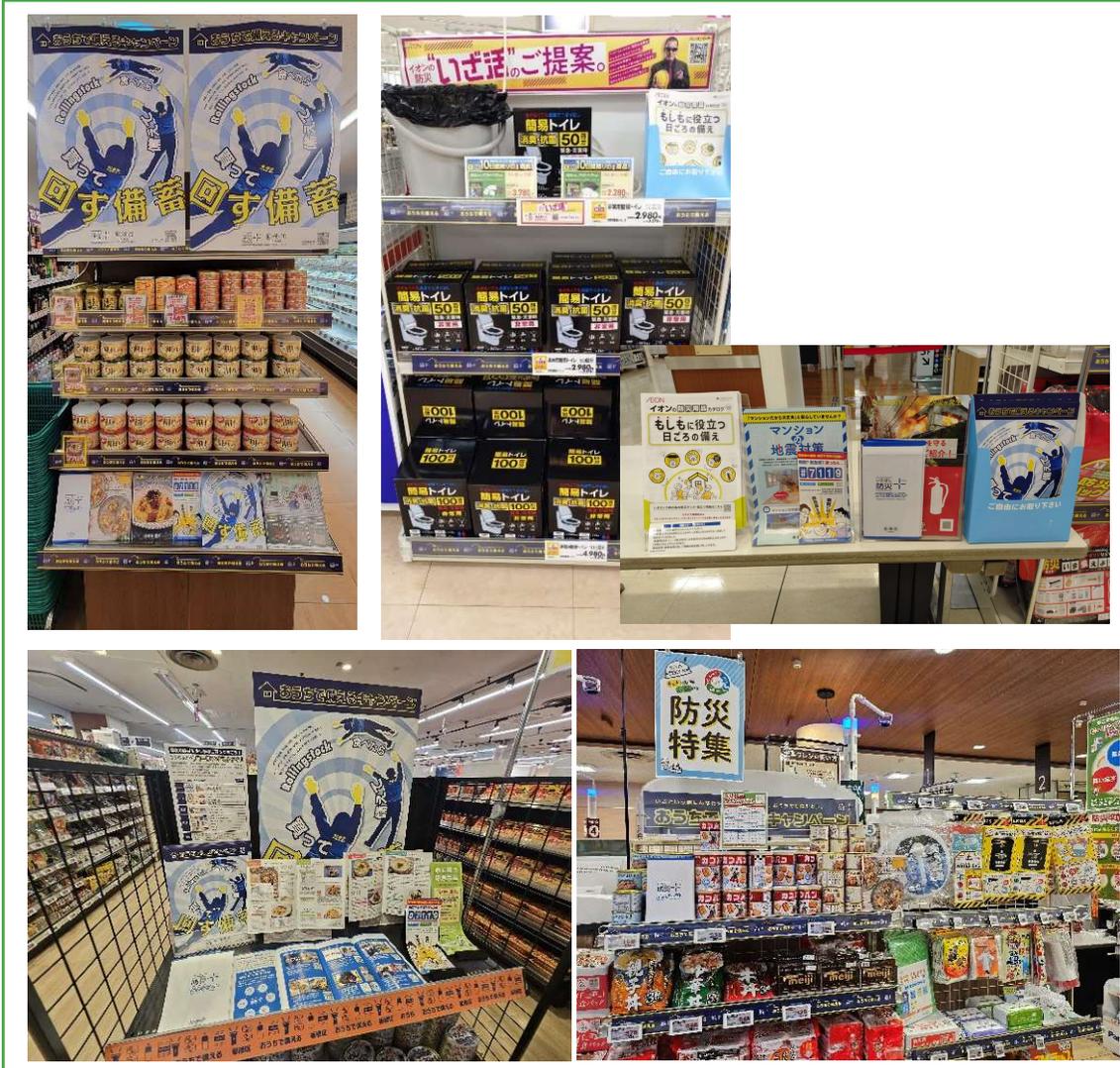
取組による効果

- ・訓練により操作方法の習得に加え、作業計画・指示を行うために必要な知識の習得

『おうちで備えるキャンペーン(ローリングストック周知、防災教育)』

更新

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (1)避難体制等の強化
- ⑤災害に備えた家庭内の食料備蓄の推進



担当部署	板橋区 危機管理部地域防災支援課
連絡先	03-3579-2152
関係機関	区内商業施設など

取組概要

- 区内商業施設での期間限定防災用品販売棚の設置による意識啓発⇒区が作成した「おうちで備えるキャンペーン」のPOPを活用
- 区内商業施設へのポスター・チラシ・パンフレット設置による意識啓発

R7年度の参加実績：44店舗

取組内容の工夫点・課題・留意点

- 「おうちで備えるキャンペーン」の参加企業を増やすため、当キャンペーンのポスターやPOPを区ホームページに掲載し、企業が自由にキャンペーンに参加できるように運用を変更
- Instagramにておうちで備えるキャンペーンの周知、BIツールを活用した周知を行う
- 認知度を高め、参加企業にもメリットがあるようなキャンペーンに改善していく必要がある

取組による効果

- 防災と普段の生活が密着していることを区民に広く周知し、防災意識啓発をはかる
- 災害時に必要な対策をわかりやすく伝え、区民が正しく災害に備えることにつながる

『広域避難先施設の確保』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)避難体制等の強化

⑧民間施設を活用した避難場所等の整備、確保

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

大規模水害時の広域避難先施設について、令和4年に内閣府と東京都が共同で設置した「首都圏における広域的な避難対策の具体化に向けた検討会」等における検討を踏まえ、東京都が広域避難自治体相互間や広域避難先施設立地自治体との調整を行うとともに、複数の広域避難自治体の代表窓口として、広域避難先施設管理者との調整を行った上で、東京都と広域避難先施設管理者の間で「包括協定」を締結し、広域避難先施設の確保を進めている。

担当部署	東京都総務局総合防災部防災計画課
連絡先	03-5388-2486
関係機関	中央区・台東区・墨田区・江東区・北区 荒川区・板橋区・足立区・葛飾区・江戸川区
取組概要	大規模水害時における自治体の行政区域を越える避難について、避難先となる広域避難先施設管理者や関係機関と連携し、確保を進めている
取組内容の工夫点・課題・留意点	複数の関係機関が連携・協力して確保した広域避難先の開設運営について、さらなる具体化が必要である
取組による効果	広域避難先施設は、都内の浸水想定区域外にある大規模施設を基本としており、施設管理者等と調整し、理解を得た上で、現在、国や企業、大学等19団体と施設利用の協定の締結をしている

『要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練のパンフレット作成』

新規

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - (1)避難体制等の強化
 - ⑨要配慮者利用施設における避難計画の作成・避難訓練の実施、及び避難確保計画作成の支援ツールの充実

令和8年1月公表 荒川水系（東京都）大規模氾濫に関する減災対策協議会

**要配慮者利用施設における「水害時の避難訓練」で
お悩みのみなさまへ**

- はじめに ... 1～2
- 要配慮者利用施設が抱える課題
（ヒアリング・アンケート調査結果の共有） ... 3～4
- 課題を解決するための事例紹介 ... 5～17

https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000935152.pdf

【課題①】避難訓練をするにも人手や時間が足りない

最初から完璧を求めず、（ハードルを下げて）着手できそうな内容（小人数でもできそう、利用者さんを巻き込まずにできそうなど）から始めてみましょう。

例) 利用者さんの役を施設職員が代行

例) 訓練の前提条件を確認（浸水深、継続時間など）
・地図を広げて避難経路の確認

参考事例 ① HP中段の「手引きのダウンロード」から確認できます（当該図は11ページに掲載）
要配慮者利用施設における土砂災害に関する避難訓練（実践の手引き） | 群馬県

URL <https://www.pref.gunma.jp/page/11302.html>

担当部署	荒川下流河川事務所 流域治水課
連絡先	03-3902-3220
関係機関	荒川水系（東京都）大規模氾濫に関する減災対策協議会
取組概要	<p>・要配慮者利用施設が水災害時の避難に対して抱える課題毎に、解決するヒントとなる事例集として、『水害時の避難訓練でお悩みのみなさまへ』を「荒川水系（東京都）大規模氾濫に関する減災対策協議会」で作成。協議会構成自治体から施設へ周知し、水害時の避難訓練実施を促進、避難の実効性向上を図る。</p>
取組内容の工夫点・課題・留意点	<p>・アンケート結果を元に訓練の実施あたって施設が抱える課題ごとに解決するヒントとなる事例や参考となる資料を全国から集約して提示。</p>
取組による効果	<p>・各自治体を通じて各要配慮者利用施設で避難確保計画に基づく訓練の実施率の向上を期待。</p>

更新

『避難確保計画作成支援システムの導入』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)避難体制等の強化

⑨要配慮者利用施設における避難計画の作成・避難訓練の実施、及び避難計画作成の支援ツールの充実



① 提出された計画の内容を点検してください

基本情報 計画概要 防災態勢 情報収集・伝達 避難誘導 設備・備蓄 防災教育及び訓練

避難誘導 [記入例](#)

避難先、移動距離及び避難方法

① 原則、施設利用者の適切な支援を提供できる系列事業所（障害者福祉センター）に立退き避難する。
 ② ①が困難な場合は、区が開設する福祉避難所（準補充型）に立退き避難する。
 ③ ①、②が困難もしくは、避難する時間が確保できない場合は、安全を確保し、浸水しない階層へ垂直避難（屋内安全確保）する。

【洪水：荒川】

	避難先	移動距離	避難方法			移動に要する時間	避難開始基準	避難階
			徒歩	車両	その他機材			
系列施設や他の同種類似施設	障害者福祉センター (770 m)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1 台	20分	警戒レベル3の情報	1 階
該当する災害リスク：該当なし								
高台水害対応避難場所・福祉避難所			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0 台			階

担当部署	北区 危機管理室防災・危機管理課
連絡先	03-3908-8184
関係機関	

取組概要
 要配慮者利用施設が避難確保計画を円滑に作成・訓練実施を報告できるようにクラウド型の計画作成支援システムを導入した。

取組内容の工夫点・課題・留意点
 あらかじめ、システム内に記載例や施設毎のハザード情報が入力されているため、避難計画作成の手間が省ける。また、区から一斉連絡を行うことができるため、実際の災害時にも安否確認等で活用を見込んでいる。

取組による効果
 現在、区で点検中ではあるが、388施設中254施設から計画の提出を受けている。また、訓練実施報告についてもシステム導入前より増加した。

『令和7年度 新宿区・第四消防方面合同水防訓練』

更新

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)避難体制等の強化

⑪水防活動における連携強化、支援



担当部署	新宿区みどり土木部道路課
連絡先	03-5273-3525
関係機関	新宿区、消防署、消防団、東京都
取組概要	<p>台風及び集中豪雨による水害に備えるため、「新宿区・新宿区内消防署合同水防訓練」を実施。 (実施日：令和5年5月27日)</p>
取組内容の工夫点・課題・留意点	<p>河川からの溢水を想定し、現地巡回・点検から溢水時対策（積み土のう工法、連結土のう工法、マンホール噴出防止）等を実施。</p>
取組による効果	<p>合同水防演習実施による、水防活動上の技術継承や各機関との連携強化。</p>

『令和6年度台東区・三署合同総合水防訓練』

更新

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (1)避難体制等の強化
- ①水防活動における連携強化、支援



積み土のう工法訓練

マンホール噴出防止工法訓練



担当部署	台東区 道路管理課、危機・災害対策課
連絡先	03-5246-1302
関係機関	台東区、消防署、消防団、警察署 東京都下水道局、東京地下鉄(株)

取組概要
 台風や集中豪雨等による水害に備えるため、関係機関及び地元住民の協力を得て、区・消防署合同で水防訓練を実施 **(令和7年6月7日)**

取組内容の工夫点・課題・留意点
 台風が接近した影響により発生した集中豪雨による家屋への浸水や下水道人孔からの溢水などの被害を想定し訓練を実施した。
 区庁舎に設置した災害対策本部と消防各署隊本部との通信状況を訓練会場でモニタリングし、本部からの指示等に応じて各種水防工法演習等を行った。

- 取組による効果**
- ・水防工法や排水ポンプ操作などによる参加者の習熟と意識醸成
 - ・衛生通信回線を活用した関係機関相互の情報連携の強化・伝達スキルの向上 など

『京成本線荒川橋梁部における水防訓練の実施』

更新

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (1)避難体制等の強化
- ⑪ 水防活動における連携強化、支援



設置完了状況



設置作業状況

担当部署	足立区 都市建設部 都市建設課
連絡先	03-3880-5478
関係機関	荒川下流河川事務所・京成電鉄株式会社

取組概要
 周辺の堤防より低く、大型台風等により水位が上昇した場合に越水の危険性が高い京成本線荒川橋梁部において、営業終了後の軌道敷内で止水板を設置する水防訓練を行った。

取組内容の工夫点・課題・留意点
 訓練従事者20人のうち半数は初めての訓練参加だったが、作業の効率化を図り、前年度と同様の時間（約26分）で設置を終えることができた。

取組による効果
 止水板設置作業の一層の効率化を図り、迅速な水防活動を実施することで、越水による水害から区民の生命・財産を守ることができる。

『京成本線荒川橋梁部水防訓練の実施』

更新

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)避難体制等の強化

⑪水防活動における連携強化、支援

止水板設置



大型水のう設置



完了状況(全景)



担当部署	葛飾区 都市整備部調整課
連絡先	03-5654-8374
関係機関	荒川下流河川事務所、京成電鉄、足立区

取組概要

京成本線荒川橋梁付近の堤防は、周辺の堤防に比べて低く、戦後最大雨量（3日間流域平均）を記録した令和元年東日本台風による増水で、ピーク時の水位が橋梁桁下約1.2mまで上昇しました。

葛飾区・足立区は「京成本線荒川橋梁部における水防活動手順書」を取りまとめ、荒川下流河川事務所・京成電鉄株式会社を加えた4者で水防活動に関する確認書を締結しました。

令和4年度より、水防活動手順書に基づく対策の水防訓練を実施している。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・水防活動の手順書に基づき、実際の線路上で電車の運行停止後に、工法の手順、施工性等の確認、検証を行い、都度改善し取り組んでいる。

取組による効果

- ・越水防止対策工法の妥当性や関係機関との連携方法等を確認、検証した。

『災害時における相互援助協定先(秩父市)との荒川上下流ツアーの実施』

新規

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (1)避難体制等の強化
 - ⑫災害時の復旧、支援

<浦山ダム>



<秩父市役所本庁舎>

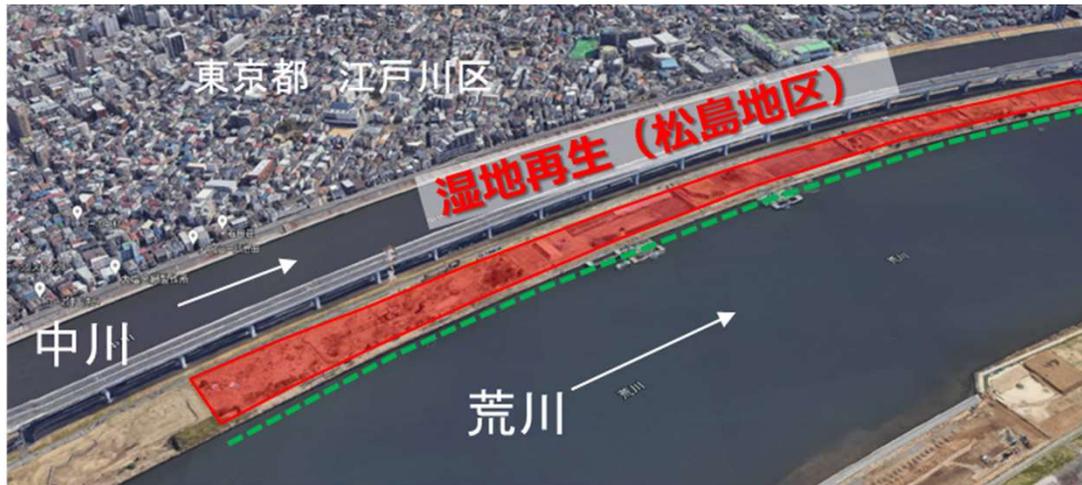


担当部署	足立区 危機管理部 防災戦略課
連絡先	03-3880-5082
関係機関	足立区、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年10月 足立区と秩父地域1市4町(秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町及び小鹿野町)にて災害時における相互援助協定を締結 ・ 令和7年10月 秩父市からの提案により、荒川上下流交流ツアーを実施(区職員約20名参加)
取組内容の工夫点・課題・留意点	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ①浦山ダム、としまの森、秩父市役所本庁舎の見学 ②秩父市長との懇談会 <p>上記内容を通じ、上下流の課題等を共有できた。</p>
取組による効果	<p>災害時、迅速に対応できるよう、平時から自治体間の関係性構築に寄与した。</p>

『荒川下流自然再生 ～グリーンインフラの整備～』

更新

- 4.グリーンインフラの取組
 - (1)自然環境の保全・復元などの自然再生



担当部署	荒川下流河川事務所 地域連携課
連絡先	03-3902-8745
関係機関	—

取組概要
 荒川では、河川敷に広がる湿地や、汽水域に形成されるヨシ原があり、共に希少な生物の生息場所となっている。乾燥化や航走波による浸食によりこれらの生息場所が減少しつつある中、河川敷の盤下げに併せて湿地環境の創出、汽水域のヨシ原の保全・創出を図ります。

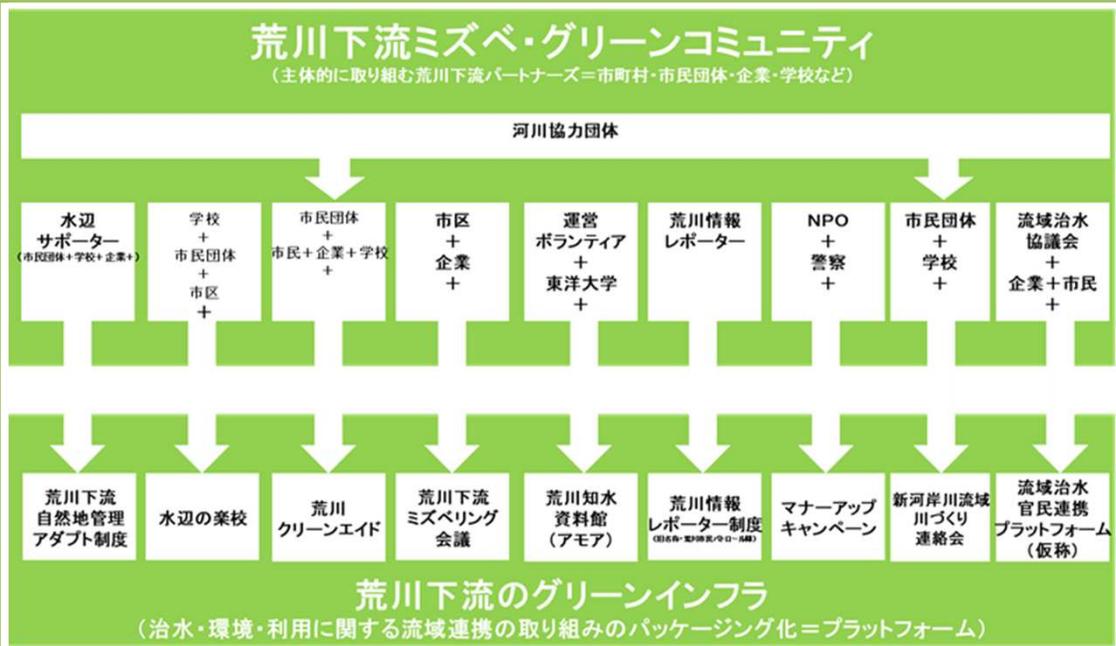
取組内容の工夫点・課題・留意点
 荒川下流部において、治水事業の高水敷掘削とあわせて湿地再生を行うことにより、治水効果を得ながらグリーンインフラとしての自然地の再生整備を実施。

取組による効果
 ヨシ原や干潟の保全・創出、多様な生物の生息・生育・繁殖環境の保全・再生を図る。

『荒川下流ミズベ・グリーンコミュニティ』

更新

4.グリーンインフラの取組
 (6)自然環境が有する多様な機能活用の取組み



担当部署	荒川下流河川事務所 地域連携課
連絡先	03-3902-8745
関係機関	—

取組概要
 ～協働による安全・快適な荒川づくり～
 社会情勢の変化や地域社会のニーズに的確に対応した河川の計画・整備・維持管理・利用等を行うため、地域と国、住民と行政とのパートナーシップを深めていきます。
 荒川下流自然地管理アダプト制度においては、一般公募による企業や市民団体からなる[荒川水辺サポーター]と、[沿川自治体]、[荒川下流河川事務所]の3者が連携して協働で自然地の維持管理活動を平成25年より実施しています。

取組内容の工夫点・課題・留意点
 平成25年度から活動を開始した本取組が、令和4年度に10年の節目となり、以降10年間活動された団体の皆様に感謝の意を表し、感謝状の贈呈を執り行っています。



取組による効果
 河川環境事業全般の認識向上、環境への意識向上につながります。当初11団体で始めた維持管理活動も、令和7年度は31団体が活動しました。